

共有で広がる 新たな価値創造への高まり

本市が第七次総合計画で目指すまちの姿、新しい価値の創造都市。新しい価値は、今までもつたものに知恵を加えることで生まれます。

今まで行政が進めていたまちなか再生への取り組み。行政だ



まちなかを流れる広瀬川を使ったリバーフェス。新たなスポーツイベントになった。

けでは広がらないものが多くあり、動きが見えにくいのが現状でした。しかし、「まちなかをどうにかしなければならぬ」という思いがさまざまな人たちに改めて共有されたことで、新たな価値の創造者たちが続々と現れます。

そしてここ数年で、人との出会いやまちなかでの時間を楽しむイベントが開催されたり、アートを楽しむ場になったり、まちなかの新しい役割が増えてきています。

10月と11月にはアーツ前橋開館5周年を記念して、前橋中心商店街協同組合とアーツ前橋が協力して企画展「つまずく石の縁 地域に生まれるアートの現場」を開催しました。過去にまちなかで滞在制作を行ったアーティストが、商店街の店舗などを会場に作品を展示。まちなかが作品展示の舞台となり、新たな価値を生み出したイベントになりました。

まちなかで子どもに夢を

小さい頃に自転車でよくまちなかに遊びに来ました。昔あったおもちゃ屋さんのレーシングカーでよく遊んでいて、いつもまちなかに来るのが楽しみで仕方なかったです。今の子どもたちにも、私みたいに楽しい思い出を作ってもらいたい、まちなかで夢を見せてあげたい。そんな思いでおもちゃと人形自動車博物館の別館を作りました。「不思議な店があるんだな」と興味を持ってもらえれば、それだけでうれしいですね。いつかまた、昔のように多くの人にぎわうまちなかになったらいいなと思います。



伊香保おもちゃと人形自動車博物館代表取締役 横田 正弘さん



じぶんカンパニー代表取締役・プライベートジムDROIT代表 池田 道成さん

まちなかでやるから面白い

まちなかでプライベートジムを運営しています。ここでは、お客様の体だけでなくその人の性格も徹底的に調べあげて、それぞれに合ったプログラムを作っています。まちなかには駐車場がないから人が来ない、と言う人もいますがそんなことはなくて、強い目的意識があれば来ると思うんです。このジムはまちなかでやっていることもあって、面白いねと注目してもらっているんだと思います。まちなかはみんなで何とかしようとしている場所。10年後、20年後のまちなかが楽しみです。

私たちにしかできないことで 新たな価値を

まちなかは、前橋の人々の思い出が詰まった「前橋の顔」ではないでしょうか。小学生は鼓笛を披露したり、学校終わりに祭りに行ったり。そんな大切な場所がなくなってしまったら寂しいじゃないですか。だから私はまちなか文化を次代に引き継ぐために活動をしています。

私たちのビジョンは「デザインの力で、前橋

のまちなかから日本の地方をもっと面白くする」。今まで行政に頼っていてどこか他人事になっていたまちなかのことですが、私たち市民にしかできない、やるべきことがある。これまで忘れかけていた価値と新たな価値を、訪れる人たちの生活に落とし込むのが、私たちの役目だと思っています。



前橋まちなかエージェンシー(MMA)代表 橋本 薫さん

商店街×アーツ前橋で 生み出すつながり

アーツ前橋の開館5周年を一緒に祝いたいという商店街からの提案から開催した「つまずく石の縁」。これは市立美術館があり、アーティストとの交流に前向きな前橋のまちなかだからできたことだと自負しています。イベント開催中は、以前まちなかに滞在していた国内外のアーティストと再び交流できたり、多くの学生スタッフが参加してくれたりしました。訪れた人はこのアットホームな空気を好きになってまた来てくれるんですよ。互いのコミュニティが混ざり合い広がり、新たなつながりや価値を生み出していると感じましたね。お互いの存在を大切にできたから、気軽に相談できる距離感でいられるのもうれしいです。今後も一緒に面白いことをやっていきましょう。



(右)前橋中央通り商店街振興組合理事長 大橋 慶人さん
(左)アーツ前橋 堺 大輔



アーティストがまちなかで作品を紹介

面白い、趣味、アートなどを楽しめる場に。彼らの挑戦によって、まちなかがそんな場に生まれ変わりはじめます。

- 1 おもちゃと人形自動車博物館前橋別館。まちなかの3カ所に展開。
- 2 前橋まちなかエージェンシーの活動拠点、comm。シェアオフィスとして利用できる。
- 3 池田さんのジムは、既にまちなかに2つの店舗を出店している。

